令和５年度　福井市下水道事業経営戦略フォローアップ

令和６年１０月　福井市上下水道局

令和５年度決算に基づき、経営戦略（計画期間：平成 29～令和８年度）に掲げた事業計画と経営基盤強化の取組について進捗状況を検証した。

1　事業計画の進捗状況

【普及拡大事業】

未普及地区解消に向けた公共下水道の整備

- 整備地区　：東藤島地区、東郷地区、一乗地区、麻生津地区　など
- 整備延長　：約 25.4㎞
- 人口普及率：99.1%（昨年度から 0.8 ポイント増）

【改築事業】

ストックマネジメント計画に基づく、管渠・施設の老朽化対策

〇管渠

- 管更生延長：約 2.0㎞
- 改築延長　：約 0.2㎞

〇施設

- 日野川浄化センター、乾徳ポンプ場等の設備更新
- 大瀬ポンプ場中央監視設備更新事業

【耐震化事業】

施設の耐震化の推進

- 耐震診断（重要な幹線等、日野川浄化センター管理棟）

【大規模改築事業】

- 加茂河原ポンプ場更新事業：建築工事、機械設備工事　など
  （令和 6 年 3 月供用開始）
- 足羽ポンプ場更新事業　　：詳細設計業務

＜加茂河原ポンプ場＞

【雨水対策事業】

- 耐水化事業　：耐水化工事（日野川浄化センター）
- 浸水対策事業：雨水対策実施計画の作成
  足羽ポンプ場更新工事に伴う雨水増補管詳細設計

2　経営基盤強化の取組

【事業の効率化】

〇不明水対策
- 管更生延長：約 1.0㎞

〇消化ガス発電
- 令和５年度発電量：約 232 万 kW
- 二酸化炭素削減量：約 1,114t

＜消化ガス発電設備＞

【収入の確保】

・過年度使用料収納率　99.8%　　・交付金・補助金の要望活動

【組織の活性化・人材育成】

研修：９回
（危機管理、企業会計、事業計画、排水ポンプ車操作、施設見学等）

訓練：BCP 訓練（地震・風水害）

＜BCP 訓練（風水害）＞

＜研修（企業会計）＞

【下水道事業の見える化】

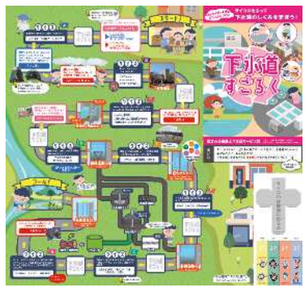
上下水道のミカタの発行
（年３回 全戸配布）

上下水道展の開催
（約 800 人来場）

マンホール・ワン・コンテストの実施

＜令和５年度最優秀作品＞

上下水道すごろくの配布
（約 1,300 枚配布）



マンホールカードの配布
（約 6,300 枚配布）

＜「落ちない・スベらない・サクラ咲く」
合格まんほ～るカード事業＞

3　経営指標

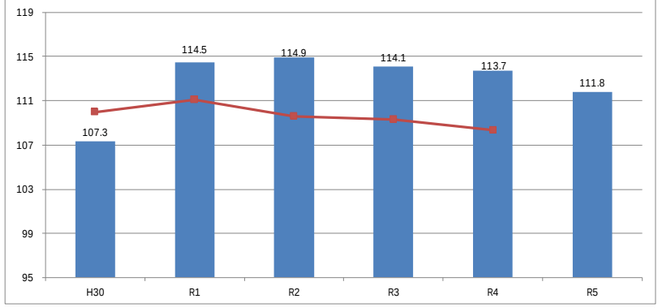
※数値は全て公共下水道のもの
※類似団体区分：処理区域内人口　10 万人以上（政令市除く）
区域内人口密度　50 人/ha 未満

【経営の健全性・効率性】

福井市
類似団体平均

①経常収支比率(%)

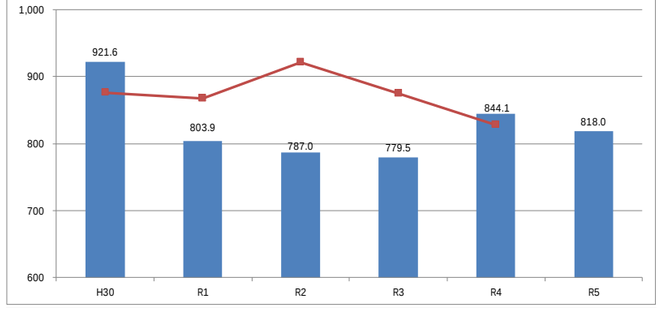
維持管理費などの経常費用を使用料収入や繰入金などの収益でどの程度賄えているかを示す指標。（100%以上が望ましい）



	H30	R1	R2	R3	R4	R5
福井市	107.3	114.5	114.9	114.1	113.7	111.8
類似団体平均	110	111.1	109.6	109.3	108.3	

②企業債残高対事業規模比率(%)

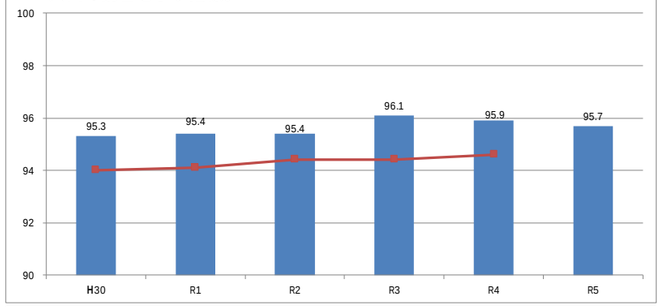
使用料収入に対する企業債残高の割合で、企業債残高の規模を示す指標。



	H30	R1	R2	R3	R4	R5
福井市	921.6	803.9	787.0	779.5	844.1	818.0
類似団体平均	875.5	867.4	920.8	874.0	827.4	

③水洗化率(%)

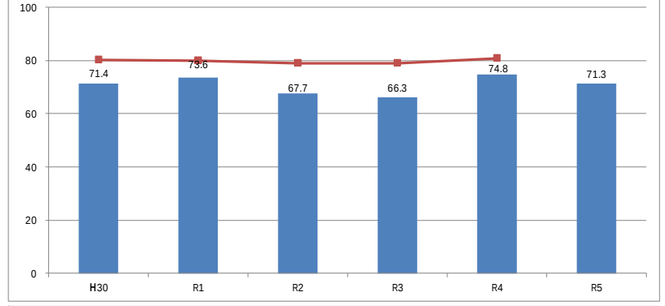
処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水を処理している人口の割合を示す指標。



	H30	R1	R2	R3	R4	R5
福井市	95.3	95.4	95.4	96.1	95.9	95.7
類似団体平均	94	94.1	94.4	94.4	94.6	

④有収率(%)

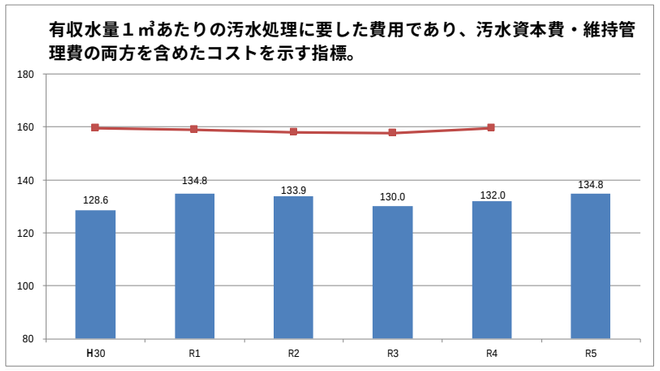
処理した汚水のうち、使用料徴収の対象となる水量の割合を示す指標。
高いほど不明水が少なく、効率的。



	H30	R1	R2	R3	R4	R5
福井市	71.4	73.6	67.7	66.3	74.8	71.3
類似団体平均	80.1	79.8	79.1	79.0	80.8	

⑤汚水処理原価(円)

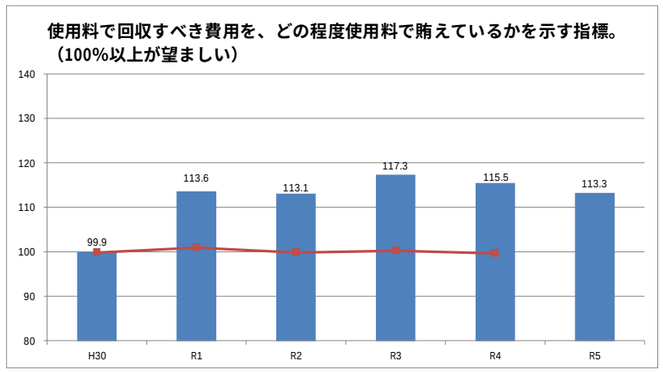
有収水量１㎥あたりの汚水処理に要した費用であり、汚水資本費・維持管理費の両方を含めたコストを示す指標。



	H30	R1	R2	R3	R4	R5
福井市	128.6	134.8	133.9	130.0	132.0	134.8
類似団体平均	159.6	158.9	158.0	157.6	159.6	

⑥経費回収率(%)

使用料で回収すべき費用を、どの程度使用料で賄えているかを示す指標。
（100%以上が望ましい）



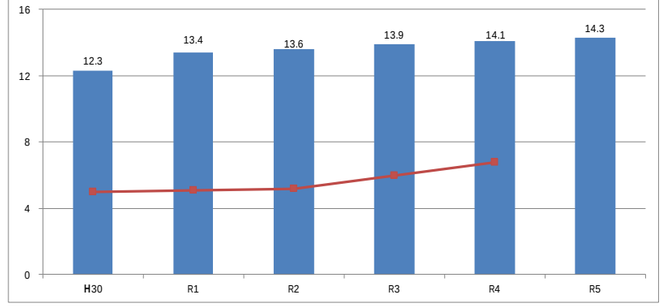
	H30	R1	R2	R3	R4	R5
福井市	99.9	113.6	113.1	117.3	115.5	113.3
類似団体平均	99.8	100.9	99.8	100.3	99.7	

【老朽化の状況】

福井市
類似団体平均

⑦管渠老朽化率(%)

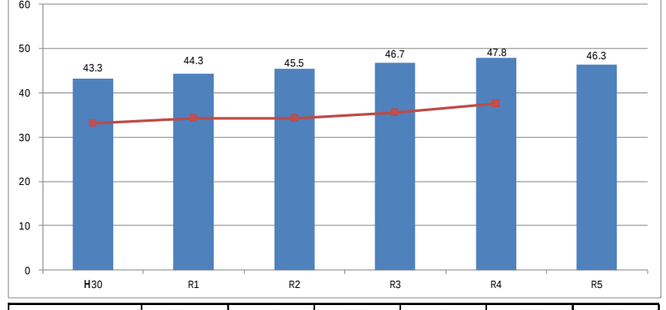
法定耐用年数を超えた管渠延長を示す指標。（管渠の老朽化度合を表す）



	H30	R1	R2	R3	R4	R5
福井市	12.3	13.4	13.6	13.9	14.1	14.3
類似団体平均	5.0	5.1	5.2	6.0	6.8	

⑧有形固定資産減価償却率(%)

有形固定資産（償却対象資産のみ）の減価償却がどの程度進んでいるかを示す指標。（施設の老朽化度合を表す）



	H30	R1	R2	R3	R4	R5
福井市	43.3	44.3	45.5	46.7	47.8	46.3
類似団体平均	33.1	34.3	34.2	35.5	37.5	

【指標の分析】

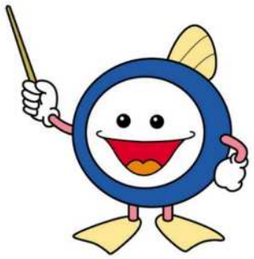
- 「①経常収支比率」、「⑥経費回収率」については 100%を上回り、かつ、類似団体より高い水準で推移しており、健全な経営状態といえる。
- 「⑦管渠老朽化率」、「⑧有形固定資産減価償却率」は類似団体平均を上回っており、他自治体と比べ、老朽化が進んでいる状況にある。

4　決算状況

【決算状況】

※金額は百万円単位で四捨五入　　（ ）内の数値は対前年度増減率

＜下水道マスコットキャラクター「スイスイ」＞



収益的収支：収益面では、他会計負担金の増などにより、営業収益は 67 億 8,600 万円（＋2.8%）となった。また、営業外収益は 27 億 600 万円（△1.9%）、特別利益は 300 万円（皆増）となり、これらを合わせた総収益は 94 億 9,400 万円（＋1.4%）となった。

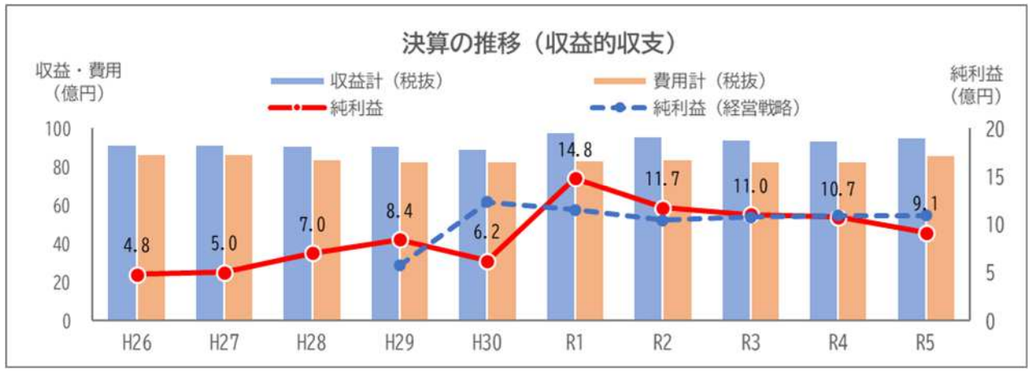
費用面では、施設の維持管理費の増などにより、営業費用は 77 億 5,800 万円（＋3.9%）となった。また、営業外費用は企業債利息等の減少により 8 億 1,700 万円（＋0.0%）、特別損失は 400 万円（皆増）となり、これらを合わせた総費用は 85 億 8,000 万円（＋3.5%）となった。

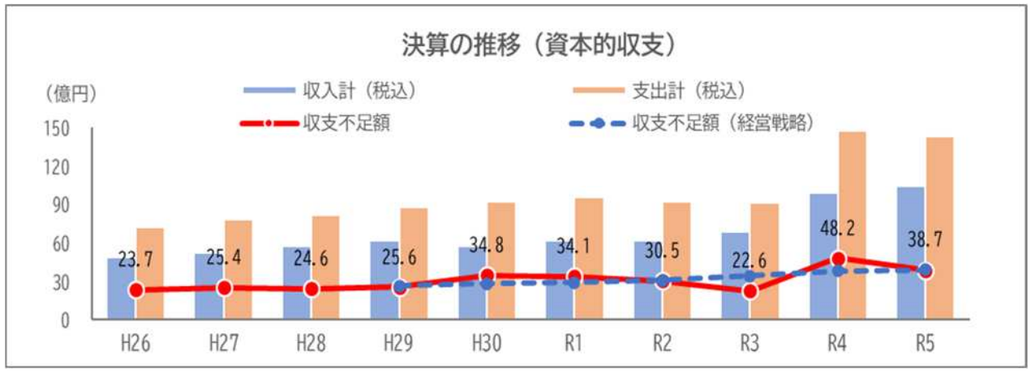
この結果、当期純利益は 9 億 1,500 万円（△14.8%）となった。

資本的収支：収入面は、企業債や補助金の収入により、104 億 2,900 万円（＋4.9%）となった。

支出面では、建設改良費の減少等により、資本的支出額は 143 億円（△3.1%）となった。

この結果、資本的収支の不足額は 38 億 7,100 万円となり、留保資金や収益的収支で生じた利益等で補填している。





【経営戦略との比較】

【単位：億円】

	収益的収支			資本的収支		
	収益	費用	純利益	収入	支出	不足額
経営戦略	93.1	82.2	10.9	75.7	114.9	39.2
Ｒ５決算	94.9	85.8	9.1	104.3	143.0	38.7

- 収益的収支については、光熱費や資材等の高騰による維持管理費の増加により、純利益が経営戦略の見込値よりも下振れする結果となった。
- 資本的収支については、加茂河原ポンプ場更新事業の前年度繰越により、収入と支出がそれぞれ経営戦略の見込値よりも増加しているが、資本的収支の不足額は、経営戦略の見込値と同程度となった。